

『図書館「超」活用術』
奥野 宣之/著 朝日新聞出版

図書館で「ただ本を借りるだけ」の方必見。

本書で図書館の様々な機能を知り積極的に使いこなせるようになれば、あなたの仕事や人生はもっと豊かなものになるかもしれません。

『図書館のプロが伝える
調査のツボ』
高田 高史/編著 柏書房

知りたい情報を効率的に探すためのコツとは？ 架空の図書館での調べものを通して、図書館を活用するツボを分かりやすく紹介した本です。物語形式でイラスト入りなので気軽に読めますよ。

『世界の図書館から』
U-PARL/編集 勉誠出版

海外旅行の目的地に図書館を加えてみませんか？

本書ではアジア諸国の主だった図書館や公文書館の特長や利用条件、アクセスや周辺の飲食店情報等がわかりやすく紹介されています。

『わたしの居場所』
共同通信社取材班/著 現代人文社

「自分の居所が見つからない」
「安心できる場所がほしい」
そんな人々が辿り着いた、それぞれの居場所。市井の人々がつけた小さな光に読み手も勇気づけられます。

『365日、暮らしのこよみ』
井上 象英/著 学研プラス

元日から大晦日まで、1日ごとに年中行事や二十四節気、七十二候を紹介しています。

季節の恵みや自然の変化を感じることで、暮らしも心も豊かに過ごせる手助けをしてくれます。



福岡市図書館マンス 2024

図書館のある暮らし



発行：福岡市総合図書館・分館
2024年10月

【図書館マンス】とは…

福岡市の図書館では、2008年に分館も含めた全館で統一テーマによる特集展示を行ったことを皮切りに、毎年統一テーマ展示を行ってまいりました。

2014年よりそれをさらに発展させ、より皆様に楽しんでいただける図書館、親しみやすい図書館を目指して、読書週間のある10月を「福岡市図書館マンス」として、毎年各館で趣向を凝らした展示・イベント等を行っています。

『世界が面白くなる！
身の回りの数学』
佐々木 淳/著 あさ出版

選挙速報では開票せずになぜ当選確実を出せるのか？「プレミアム商品券」は本当にお得なのか？身の回りの「なぜ？」を数学で解決。楽しく数学に親しむことができます。

『認知症世界の歩き方 :
認知症のある人の頭の中を
のぞいてみたら?』
寛 裕介/著 認知症未来共創ハブ
/ほか監修 ライツ社

認知症の人には周囲がどう見えているのか、どういうことに困っているのか、体験談とマップ形式で解説している本です。不便なところを工夫して自分らしく居続けるためのヒントが満載です。

『まんが・アニメ・絵本に出てきた「あの料理」と「あの菓子」
を作れる夢のキッチン』
吉田 瑞子/[著] ブティック社

絵本や物語に出てくる美味しそうなお料理を食べてみたくなったことはありませんか？図書館で探してみてください。古今東西のお菓子や食べ物のレシピがありますよ。

『英語でつくる和食 完全版 :
recipes of Japanese cooking』
藤田 裕子/編著
ナヴィインターナショナル/編著 ナツメ社

日本の伝統食や煮もの、蒸しもの、豆腐料理、鍋料理、正月料理などの手順を、多くの工程写真とともに説明。和食の食材、使用する道具、調理法のコツやテクニックなども紹介。

『図書館司書 32 人が選んだ
犬の本棚 : 犬に寄り添い、
犬を掘り起こす 291 冊』
高野 一枝/編著 郵研社

犬好きの皆さま！お待たせしました。ヒトとイヌの歴史から犬との暮らし方、さよならする時まで。様々なテーマで犬に関する本が紹介されています。

猫好きの方には「猫の本棚」を！

『ちんろろきしし』
元永 定正/著 福音館書店

どこから読んででも、どこで終わっても、絵だけをぼんやり眺めてみても、じっくり読み進めても、どんな楽しみ方でもOK！

言葉になる前の文字と絵の世界。心と頭をときほぐしてくれる本です。

『好日絵巻』
森下 典子/著
パルコエンタテインメント事業部

四季を感じる事が出来る暮らしって素敵！季節の移り変わりを、茶器や和菓子や生け花のイラストが絵巻物のように描かれているこの本で、感じてみませんか？

『手紙の楽しみ :
気持ち伝わる手書きのアイデア A to
Z×基礎知識×おすすめ文房具 114』
堤 信子/監修
暮らしの図鑑編集部/編 翔泳社

最後に手紙を書いたのはいつだっけ？そんなあなたにおすすめ。手紙の書き方をはじめ、素敵な文房具情報が満載です。誰かに手紙を出したくなること、間違いなし！

『日本語はこわくない』
飯間 浩明/著 PHP 研究所

普段の生活の中で迷いやすい敬語の使い方や、似ている言葉の使い分けについて、優しく説かれています。肩の力を抜いて、もっと日本語そのものを楽しもうと思える本です。

『文学の中の家』
スーザン・ハーラン/著
ベッカ・スタッドランダー/イラスト
エクスナレッジ

『嵐が丘』、『罪と罰』を始めとした名作文学の家について、住人や周辺環境、室内装飾などの情報を、登場人物にも話を聞きながら紹介した本。我が家のインテリアの参考にもなるかも。

今年のテーマは「図書館のある暮らし」です。
暮らしをより豊かにするための本、あるいは図書館を使いこなして暮らしに役立てられる本を紹介します。
皆様にとって、図書館が暮らしと共にありますように。

